

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月

結果公表日:2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 6名回答、回答率 100%

保護者様: 12名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・教室内で体を動かして遊べるスペースにはカラーテープで区切りを付け、お子様達が目見て分かるように工夫をしている。
- ・毎日教室内の清掃や消毒を行い、清潔な空間を保つようにしている。
- ・お子様がクールダウンできるスペースを設け、適宜活用をしている。

### ○業務改善

- ・送迎時やサービス提供記録、面談等を通して保護者様のご意向を把握し、業務改善に努めている。
- ・日々の教室内ミーティングを通し、職員間での意見交換を頻繁に行っている。
- ・研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めている。

### ○適切な支援の提供

- ・保護者様やお子様からのご意向をうかがい、職員間で話し合った上で一人ひとりに合わせた課題を設定し支援を行っている。
- ・支援開始前にミーティングを行い、支援内容や情報共有をしている。また、ミーティング以外にも情報共有は適宜行っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時等を利用し、保護者様や学校の先生と情報共有する機会を設けている。
- ・地域の関係機関や放課後児童クラブとの交流が少ないため、交流の機会が持てるように考えていきたい。

### ○保護者への説明責任等

- ・送迎時に保護者様からのご相談をうかがったり、対面での面談を適宜行っている。
- ・情報漏洩防止のために、書類の取扱いには日頃から十分に注意し、使用した書類は速やかにシュレッダーにかけている。

### ○非常時等の対応

- ・事故や災害が起きた際のマニュアルを設定し、常に対応できるようにしている。
- ・ヒヤリハットを教室内で共有し、紙面に残すことで再発の防止に努めている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

「生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。」に関しては、ローテーブルの脚の傾きや匂いが気になるのご意見をいただいた。

## ○適切な支援の提供

「子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。」に関しては、困り事についてもう少しアドバイス等をいただけたらと思うのご意見をいただいた。  
・個別支援計画作成に関してはお答えいただいた全ての利用者様に、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で作成されていると回答いただいた。

## ○保護者への説明等

「放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。」「日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。」に関しては、ご回答いただいた全ての方に「はい」とのご回答をいただき、保護者様の満足度が高いことをうかがうことができた。

## ○非常時等の対応

「事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。」に関しては9割以上の方から「はい」とのご回答をいただき、集団療育の中で定期的に災害時対応について取り組んでいることへの周知ができていることを伺えた。

## ○満足度

「事業所の支援に満足していますか。」に関しては、室内だけではなく、近くの公園等での課外活動を取り入れて、外出の際の切り替え方やルールなどの支援もしてほしい。SNS等を通して普段教室で過ごしている様子を見たいとのご意見をいただいた。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

・現在ご利用いただいている方や今後のご利用を希望されている方に教室理解を深めていただく機会を増やすため、日々の様子を細かくお伝えすると同時にブログ等を通して周知を行っていく。ブログの更新はひと月に1回を目標に取り組んでいく。  
・より一層安心してご利用いただける教室を目指し、必要に応じた感染症対策や環境整備に取り組んでいく。  
・情報の共有ノート等の活用を取り入れ、職員間の連携の強化を目指す。  
・お子様達からのリクエストを取り入れたり、社内ツールの療育活動案等を参考にした、集団療育プログラムの充実化やお子様の課題に沿った療育支援を実施していく。

## ○改善できた点・まだ残る課題

・ブログの更新頻度を上げるにはいかなかったが、集団療育の際に使用したプリントや資料をお持ち帰りいただくことで、集団療育の内容の周知に努めることができた。また、日々の様子に関してはサービス提供記録や送迎時を通して保護者様にお伝えする機会を設けることができた。  
・感染症対策に関しては継続しており、昼食やおやつの時間にはパーテーションを設置し、教室内の消毒をこまめに行った。教室内の環境整備に関しては、破損のあった備品をすぐに新品に取り替える等を実行した。  
・共有ノートの実用にはいかなかったが、支援時間の前後にミーティングの時間を設ける等、職員間での情報の共有に漏れのないよう努めた。  
・お子様からのリクエストを取り入れ、お子様が前向きな姿勢で参加することのできる集団療育の実施やパターン化しない集団療育の実施を行った。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・お子様お一人お一人のことを十分に理解し、お子様や保護者様のニーズに合わせた課題の設定、支援プログラムの提供を行っている。
- ・送迎時やサービス提供記録を通して、日頃からお子様の状況を保護者様に詳細に伝えている。
- ・集団療育等の活動プログラムが固定化されないよう工夫をしている点に、保護者様から9割以上の高い評価をいただいた。
- ・職員間で情報共有や意見交換を頻繁に行い、日々の業務や支援内容・療育内容についての改善に努めている。

### ○改善点

- ・保護者様もご参加いただける研修会や保護者様同士の交流の機会を設けられているのか分からないとのお声が多いため、今後開催の機会を検討する。
- ・ブログの更新頻度が低くお子様達が教室で過ごしている様子が保護者様に伝わりづらいため、ブログ更新の頻度を増やす。
- ・地域の機関との連携や交流の場が少ないため、集団療育等を通して交流の機会を増やす。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・引き続き、お子様と保護者様のニーズに寄り添った支援や療育を行っていく。
- ・お子様の日々の様子を保護者様に知っていただく機会を設け、更に保護者様との関係を構築できる場を増やす。
- ・課外活動や調理活動等も実施し、集団療育のプログラムが固定化されないよう工夫をする。
- ・教室内でミーティングを行う時間を十分に確保し、日頃から職員間での情報共有や情報交換の場を設ける。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・面談等を通して保護者様やお子様のニーズをうかがい、ニーズを取り入れた集団療育の検討・実施を行う。
- ・現在ご利用いただいている方や、今後のご利用を検討されている方に、お子様達が教室で過ごしている様子を知る機会を持っていただくため、月に1回以上のブログの更新を行う。
- ・送迎時やサービス提供記録、面談を通してお子様の日々の様子を詳細に保護者様へお伝えしていくことを継続し、更に保護者様との関係を構築できる場を増やす。